

国連レバノン暫定隊

United Nations Interim Force in Lebanon (UNIFIL)

《 概 要 》

2024年10月

1 設立年月	1978年3月
2 設立決議	安保理決議第425号(1978年)及び第1701号(2006年)
3 展開場所	レバノン南部
4 本部所在地	ナクーラ(レバノン)
5 ミッション長(軍司令官)	アロルド・ラザロ・サエンズ少将(スペイン)
6 活動期限	2025年8月31日 (安保理決議第2749号(2024年))
7 予算	約5億3,681万ドル(2024年7月~2025年6月)



8 経緯

- (1) 1978年3月、何者かによる部隊がイスラエルを襲撃し、多数の死傷者が出たことについて、パレスチナ解放機構(PLO)が犯行声明を出したことを受け、イスラエルは報復としてレバノンに侵攻、ティール市とその周辺を除くレバノンの南部の全域を占領。
- (2) 同月、レバノン政府はイスラエルの侵攻に対する強い抗議書を安保理に提出し、パレスチナの奇襲部隊の関与を否定した。安保理はこれを受けて決議第425号及び決議第426号を採択し、イスラエルに対して軍事活動を早急に停止し、すべてのレバノンの領域から軍を撤退することを求めた。また併せて国連レバノン暫定隊(UNIFIL)の設立を決定した。
- (3) 1982年6月、レバノン南部及びレバノン-イスラエル国境地帯において戦闘が再開し、イスラエルは再びレバノンに侵攻してベイルートに達し、これを包囲した。この後3年間、UNIFILはイスラエルの防衛線の後ろにとどまり、その役割は地域住民の保護及び人道的支援の提供に限られた。1985年、イスラエルは部隊の一部を撤退させたが、レバノン南部の一部地域を引き続き支配下に置いた。
- (4) 2000年4月、イスラエルは国連事務総長に対し、同年7月までに軍をレバノンから撤退させることを公式に通告。イスラエルは同年5月に撤退を開始し、6月には国連の指定した撤退ライン(ブルーライン)までの撤退を完了した。このイスラエルの撤退をもって、UNIFILはその軍事的な機能を回復した。その後、ブルーラインの軽微な違反等は生じたものの、状況は比較的平穏を保っていた。
- (5) 2006年7月、ヒズボラがイスラエルを攻撃したことを契機に、イスラエルは報復としてUNIFILの活動地域を含むレバノン南部への攻撃を開始し、イスラエル-レバノン間の情勢は極度に悪化した。8月、安保理は決議第1701号を採択し、敵対行為の完全な停止、並びに永続的な停戦及びこの重大な局面に対する包括的な解決策を支援することを要請した。併せて安保理は同決議においてUNIFILの規模及びマンデートを大幅に拡大し、PKOで初めて海上部隊の編成を決定した。
- (6) 2020年8月、ベイルート港で大規模爆発が発生した。事件を受けて内閣が総辞職した。
- (7) 2021年7月、ヒズボラによる越境攻撃事案に対し、イスラエルによる大規模な報復攻撃(空爆)が発生した。

- (8) 2022年5月、国民議会選挙を実施。ヒズボラを中心とする政党ブロックの議員が過半数割れし、市民社会出身の多くの無所属系議員が当選した。
- (9) 2024年8月28日、安保理は決議2749号を採択し、UNIFILのマンデートを1年間延長することを決定した。
- (10) 2024年10月1日、イスラエルはレバノン南部において限定的な地上作戦を開始。地上作戦に際し、イスラエルはUNIFILのブルーライン沿いからの退去を要請したが、UNIFILは活動を継続。UNIFIL拠点に対する攻撃や、同拠点の一部にイスラエル軍が侵入するなどの行動により、UNIFIL要員に負傷者が発生。

9 任務((1)~(6)決議第1701号)

- (1) 敵対行為の停止を監視する
- (2) イスラエル軍のレバノン撤退に伴い、ブルーライン沿いを含むレバノン南部全域に展開するレバノン軍に随伴し、撤退を支援する
- (3) 上記(2)に関連する活動について、レバノン政府及びイスラエル政府と調整する
- (4) 民間人への人道的アクセスの確保及び避難民の自発的かつ安全な帰還を支援する
- (5) 非武装地帯設置のためレバノン軍を支援する
- (6) 武器や関連する資材について、レバノン政府の同意なしにレバノンへの入国を防ぐため、要請に応じて、レバノン政府を支援する

10 派遣規模

- (1) 軍事・警察要員(計9,732名) (注)2024年7月31日時点
- ・警察要員(個人):0名
 - ・警察部隊要員:0名
 - ・軍事要員(個人):0名
 - ・軍事部隊要員:9,516名
 - ・司令部要員:216名
- (2) 文民要員(計792名) (注)2024年7月時点
- ・国際文民要員:243名
 - ・現地文民要員:549名
- (3) 国連ボランティア(計0名) (注)2024年7月時点

11 要員派遣国 (注)2024年7月31日時点

インドネシア、イタリア、インド、ネパール、ガーナなど計49か国

(詳細:国連DPO要員派遣国統計

https://peacekeeping.un.org/sites/default/files/04_country_contributions_detailed_by_mission_76_july_2024.pdf)

12 犠牲者数 (注)2024年8月31日時点

337名(事故:135名、病気:88名、悪意ある行為:94名、その他:20名)

(参照:国連DPO UNIFILウェブサイト等 <https://unifil.unmissions.org/>)